昭和四年三月廿九日
第三種郵便物認可

（四日夕刊）昭和五年四月五日　THE TOHOKU NICHINICHI, SHINBUN　（土曜日）第四百十号（一）

東北日日新聞

本紙一ヶ月三十錢
郵稅三錢一部二錢
廣告料一行三〇錢
場所指定三〇錢增
發行兼編輯印刷人　横山顯
發行所　福島縣石城郡平町白銀町十番地東北日日新聞社　電八三
年中無休刊

社說

平魚市場が賣子である鮮魚商共濟會に二分劃戻しの不履行から分裂するに到り新設の共濟賣場が生れるに及んで平町民は幾分でも安價な魚類が食膳にのぼつてゐる獨占的の營利事業會社はその何れもが、橫暴なことは通有である。

對立することによつて始めて公平な大衆向きとなることは、理論上からばかりでなく事實が更らに強く物語つてゐる。

株式組織の平魚市場と鮮魚商人自体の結成によつて生れるに到つた共同賣場の對立は誠に理想的な存在である。

然るに縣當局が、共同賣場に對して市場法にふれるとか、ふれないとかでは三日から突如總罷業を決行し工場代理人東條某に未拂賃銀五ヶ月分を要求し不穩の行動に出たので平署では各炭礦に影響するのを恐れ係官を派し嚴重警戒中であるが同工場はさきに本紙の救濟すらも出來ない腰拔けと、無能振りを勇敢に曝露してゐるとき今亦混亂に陷るものと見られてゐる尚ほ建言派である同志百五十餘人の生活を無視せんとするのか、失業者會でも來る十日午前十時から總會を開き部會總會の經過を中心として協議するので所謂反逆者排せきは相當る十六七の兩日執行される縣社小鍬神社に團員六十名されてゐるも一方某々縣議が松坂屋特製の揃ひ着で神等は支部で認めざる總會故興の渡御に奉仕する筈何等痛ようを感じないとうそぶいてゐる

若し利益をみざる共同賣場がよしや市場法にふれるとしても、之を撤回することは由々敷き問題であるまいか。

百五十人の小賣商人の生活經濟を脅威するものであるばかりでなく、實に一つの社會問題であることを考へないのである縣當局が現在その縣下にうよ〳〵してゐる失業者の救濟すらも出來ない腰抜けと、無能振りを勇敢に曝露してゐるとき今亦混亂に陷るものと見られてゐる尚ほ建言派である同志百五十餘人の生活を無視せんとするのか、失業者會でも來る十日午前十時から總會を開き部會總會の經過を中心として協議するので所謂反逆者排せきは相當る十六七の兩日執行される縣社小鍬神社に團員六十名されてゐるも一方某々縣議が松坂屋特製の揃ひ着で神等は支部で認めざる總會故興の渡御に奉仕する筈何等痛ようを感じないとうそぶいてゐる

平魚市場が賣子である鮮魚商共濟會に二分劃戻しの不履行から分裂するに到り新設の共濟賣場が生れるに及んで平町民は幾分でも安價な魚類が食膳にのぼつてゐる獨占的の營利事業會社はその何れもが、橫暴なことは通有である。

對立することによつて始めて公平な大衆向きとなることは、理論上からばかりでなく事實が更らに強く物語つてゐる。

株式組織の平魚市場と鮮魚商人自体の結成によつて生れるに到つた共同賣場の對立は誠に理想的な存在である。

然るに縣當局が、共同賣場に對して市場法にふれるとか、ふれないとかでは三日から突如總罷業を決行し工場代理人東條某に未拂賃銀五ヶ月分を要求し不穩の行動に出たので平署では各炭礦に影響するのを恐れ係官を派し嚴重警戒中であるが同工場はさきに本紙の救濟すらも出來ない腰

未拂賃銀の要求を迫り
磐城耐火工場員罷業決行
不穩のため平署では秘密裡に嚴重警かい中

石城郡赤井驛前磐城耐炎煉瓦工場從業員男女二十餘名は三日から突如總罷業を決行し工場代理人東條某に未拂賃銀五ヶ月分を要求し不穩の行動に出たので平署では各炭礦に影響するのを恐れ係官を派し嚴重警戒中であるが同工場はさきに本紙の救濟すらも出來ない腰

來たる六日の
石城民政部會總會
一大混亂を豫想さる
例の反逆者排セキ問題で

石城民政同志會の建言にも時から平町南町部會樓上に開催するが某々縣議等とてづいて例の某々縣議とその一黨を排斥する石城民政さうたやすく決議文を突きつけられて引ッ込む筈がなの一黨を排斥する石城民政いので當日の總會は可成りそぶいてゐる

許可はせぬが
届けだけは出せ
鮮魚取引所に對して
子供だましの通知來る

平魚市場の態度に憤慨してうを市場との取引を中止すると同時に直ちに新たに取引き場を平町元平劇場跡に建築し目下盛んに取引きを開始してゐる石城鮮魚商組合に對し二十七日附を以つて縣から平町役場に新取引場は所謂市場に該當してるから本縣の正式の許可を受けて營業を開始する樣直ちに注意してもらひたい」移命して來たので渡邊書記は直ちに組合長鈴木留吉氏に通知をしたが縣が言ふところの所謂正式許可云々は『結局は許可をしない方針の通知なので組合側ではこれに對し如何なる態度に出るか頗る注目されてゐる

御みこしの
渡御に奉仕
四丁目青年分團で

平町四丁目青年分團では來る十六七の兩日執行される縣社小鍬神社に團員六十名が松坂屋特製の揃ひ着で神輿の渡御に奉仕する筈

坑內で
作業中慘死
頭部を強打して

石城郡赤井村西小川頭塚三福福島炭礦坑夫渡邊榮（三四）昨二日午前九時十五分ころ同坑第七坑に於てトロに乘車作業中坑內わくに頭部を強打し即死した

人事

▲出生
平町立町五一　岡崎榮助氏長男輝之
平新川町二〇　渡邊壽治氏長男良壽

▲死亡
平鍛冶町一二　大谷あき（四一）
平町五丁目二〇　丹野矢一郎（五ッ）

本籍大沼郡芦村小野川常時

電話賣物有り
▲尚御不用の電話は買入れます
委細面談
平町三丁目
文福堂
中世古

人氣投票券
三　十　六　佳　選

サロンのバーには
何昨も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理を御獻立をして御座います。ドーゾ御試食を
田町松月隣リ
美味で評判のきもちよいサロン
電二五二番
男女給仕入數名募集

御婚禮の御寫眞は
中島寫眞館
御見合の御寫眞は

增築落成　病室完備
入院隨意
上田外科醫院
平南町　電話　一二九番

正確ナ　體溫器　寒暖計　關內藥局
電四〇番
松葉製ピノー吸煙用
壹箱二十本入金拾五錢
御用命は一丁目
水野藥局

創刊一週年記念 人氣投票

本日正午まで到着の分

篤志家

山崎與三郎 三二〇票
佐藤三平 一五〇
安島重三郎 一〇〇
江尻博孝 九〇
小林咸次 七〇

宗教家

松堂院 宍戸正勝 二六五
性源寺
九品寺 遠藤心光 二三〇
菩提院 桐原英純 一八五
欣淨寺 加藤隆瑞 九五
普門寺 清水澄香 七〇
大寶寺 小林智興 五〇
良善寺 柳田悦巖 四五

料理店

炭屋樓 谷口貞次郎 二〇〇
大和家 きわぶや 一五〇
大尼子 和家 一〇〇
松本樓 九〇
一力亭 七〇
末廣 五五
榮 五〇
一の井 三〇
益三 二〇

藝術家

尺八 谷口鹿童 二三五
琴 新妻佐喜柱 一七〇
影刻 本田朝臣 一七〇
童話 川崎小鳥 一二四
画家 安藤廣吉 九三
琵琶 大原錦陵 四五
唄 杵屋彌壽千代 六〇

政治家

池之坊 深見一寸米 二六
童謠詩 島田忠夫 二三
辯士 石井孝 二〇

商店

中澤光彌 二〇〇
比佐昌平 一六五
小野晋平 一二〇
萩原義雄 九〇
鈴木辰三郎 七〇
高岡唯一郎 三五
伊藤淺之助 三五
佐々木龍若 二六
釜屋商店 二三五
ツルヤ
三井呉服店 一五九
大谷時計店 一三〇
山城屋 一二八
中野呉服店 九八
丸ほ 五〇
黒屋商店 四〇
大坪光夫 八四
卓球山田勇太郎 一三〇
庭球奥津昌一 一二五二
庭球大山野邊藥局 二一〇
庭球織田安次郎 七五

運動家

乘馬加藤丈夫 三一〇
陸上花澤輝一 二〇〇

教育家

酒井ミヨ 二一〇
鷹崎チヨ 一四六
大和田豐吉 八五
藤田榮助 四五
清野キヨ 四三
曾我直治 二三

負師

佐々木健一郎 一七〇
猪狩菊三郎 一一三
前澤文太郎 一四三
荒川銀治 一二四
丸山喜一郎 一一〇五
九二

醫師

川井重之忠 三二九
高久安子 二九二
赤羽清治 二〇〇
加澤忠治 一六一
原精一 一二一
金成忠義 一一八
上田耕作 一一一
大森勇 九六
難波睦 九三
木村守江 八四
藤本順廣 六五
清水政 五五
木村淳 三三
大和田郡司 二三

實業家

諸橋守治 一九一
金成通正 一四三
關内一 一一五
阿部政右衛門 一〇九
山崎登 一〇一
江口忠一 九五
山崎清三 七五
武田精一 七〇
高橋龜松 三五
小野晋平 三〇
馬目武之助 二五

釀造家

田中宜治 八三
中山吉之助 七九
渡邊長作 五五
只野忠康 二八
赤塚兼助 二五
鶴仙松吉 二六〇
小錦和泉屋本店 一三七
由良之助永山和平 一〇三
近盛馬目合名會社 一〇〇
稻妻古川傳一 七一
花の友山崎元三郎 七〇
福美四家又一 五一
三國一渡邊貞三 三三
白馬の雪松本德一 二七

通學服

新學期も近づいて參りました。可愛いお子樣の通學服が、いろいろ豐富に取揃ひました

黒小倉…1,80錢ヨリ
紺ヘル…4,00錢ヨリ
紺サージ…4,60錢ヨリ

なかや洋服店
平二　電203

◆現代醫藥界ノ驚異
飲マズニ治ルコリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用 コリサ
☒論より證據百聞一見に不如
醫學博士…内野先生實驗　醫師…吉松先生發見
定價（金四拾五錢、金九拾錢（内地十二錢
特大瓶醫家用…二圓七十錢　送料（海外四五錢
平町一丁目
特約店 大平屋藥舗
電話六四二番
▣實感希望者は郵券廿錢封入左記本舗へ申込あれ試用藥と浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市此花區吉野町一丁目　吉松醫院製劑部

▲職工募集▼
一、家具指物職人　五名
但シ相當經驗ヲ有シ永勤出來得ル者詳細面談ス
平町三丁目
丸ほん家具店
申込所　平町新田前
丸ほん家具製作所
電話三五九番
電話七二三番